



Daybreak

地域医療連携だより あけぼの

第24号
2025年
5月

発行：兵庫県立リハビリテーション中央病院（地域医療連携室）

〒651-2181 神戸市西区曙町1070

☎ 078-927-2727（代表） ☎ 078-925-9264 <https://www.hwc.or.jp/hospital>



ごあいさつ

院長補佐/泌尿器科部長 仙石 淳



日頃の診療におきまして皆様には大変お世話になっており、心より感謝申し上げます。私は泌尿器科部長と院長補佐を務めております仙石と申します。ここでは、リハビリテーション（以下、リハ）病院における泌尿器科は何をしているのかをご紹介しますと思います。

リハ病院には脊髄損傷や脳血管障害、神経難病などの神経疾患を有する患者さんがリハを受けに来られるわけですが、これらの患者さんの多くに神経疾患に起因する排尿障害（これらは「神経因性膀胱」や「神経因性下部尿路機能障害」と呼ばれます）や排便障害（神経因性大腸機能障害）を合併しています。排泄は誰もが避けては通れないものですから、これらのコントロールがうまくできないとリハがはかどらず、自宅や社会への復帰率にも影響します。ですのでリハ病院の泌尿器科は、患者さんのリハがはかどるように排泄を支える仕事をしているのだと思っています。当科には、下部尿路機能障害の病態や重症度を客観的に評価できる尿流動態検査というツールがありますので、神経因性膀胱のみならず、一般健常者の排尿障害で通常の治療でうまくいかない場合にも大変有効で、これを基に難治性過活動膀胱へのボトックス治療、前立腺肥大症に対する内視鏡手術、女性の腹圧性尿失禁へのTVT手術、膀胱瘤に対する腔前壁縫縮術、前立腺癌術後等の男性尿失禁に対する人工尿道括約筋植込術などの保存的治療から手術療法まで、様々な排尿障害に対応できるよう準備しています。また、脊髄障害に伴う排便障害には経肛門的洗腸療法を積極的に導入していますので、排泄障害でお困りの患者さんがおられましたら、是非、当科へご紹介頂きたいと思っています。

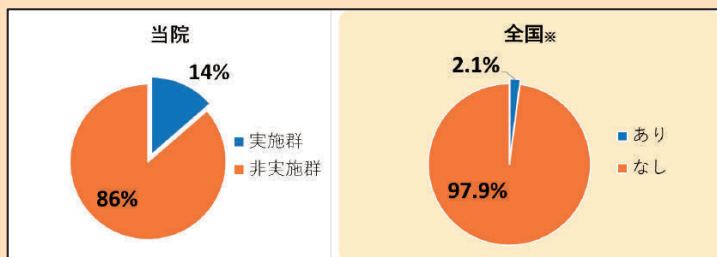
中央病院トピックス紹介

1 入院時訪問の取り組みについて

当院では、自宅訪問に同意をいただいた患者様のご家庭に対し、入院後7日目までに「入院時訪問」を実施しております。本訪問では、患者様の発症（受傷）前の生活様式、住環境、ご家族の介護力などを評価・確認し、多職種間で情報を共有することで、退院後の生活を見据えた課題や目標を明確にいたします。これにより、入院生活における適切な支援と効果的なりハビリテーションの提供を目指します。

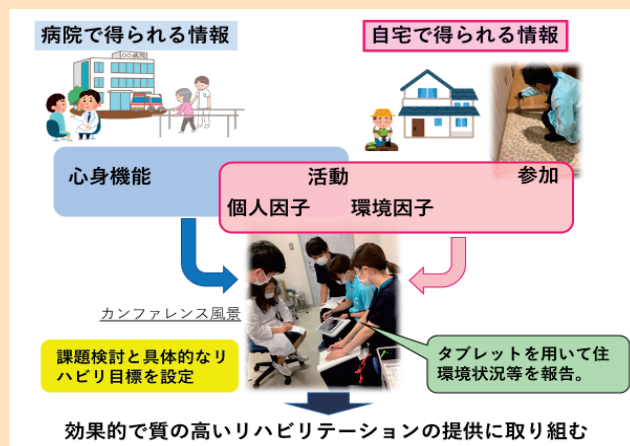
● 入院時訪問指導算定加算の状況

回復期リハビリテーション病棟を退院した脳血管系疾患患者390名のうち在宅復帰した316名



※一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会

2023年度回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査より



VOICE



～看護師の声～

入院時訪問に行くことで、自宅での今までの生活状況、食事や内服の状況等を詳しく知ることができました。それにより、入院中の目標を患者さんと一緒にたてることができ、よりよい退院支援につながっています。

また、ご家族からお話を聞かせていただくことで、自宅での生活の様子や患者さんを取り巻く環境についても理解が深まり、ご家族の要望も取り入れた入院生活支援と退院調整につながっています。

2 電子カルテを新しく更新しました

当院では、2025年3月1日（土）より電子カルテシステムを更新し、医療DXの推進を図っています。新システムでは、スマートフォンを活用した電子カルテ運用を導入し、職員間での医療データの迅速な共有やコミュニケーションの強化を実現しました。これにより、業務の効率化を促進し、医療の質のさらなる向上に取り組んでいます。

また、患者様の利便性向上を目的に、外来診療のお薬を「院外処方」へ変更し、診療費の「後払いシステム」を導入いたしました。これにより、待ち時間の短縮を図り、より快適な医療提供を目指しています。

今後も最新のシステムを最大限に活用し、質の高い医療の提供と患者様の満足度向上に努めてまいります。



院外処方



診療費後払いシステム

3 新しく整形外科の医師が着任しました!!



高島良典医師

関節外科を中心に診療を行っていきたく思いますので、何卒宜しくお願い致します。



傳直樹医師

皆様のお役に立てるように頑張ってまいりますので、宜しくお願い致します。



大瀧建也医師

右も左も分かりませんが、精一杯がんばります。皆さん宜しくお願いします。



高垣潤医師

真摯に明るく診療して参ります。



置村健二郎医師

地域の皆様のお役に立てるよう頑張ってまいりますので何卒宜しくお願い致します。

医療福祉 相談室の new face!



平岡達哉MSW



松井悠介MSW

4 病院から在宅へ「つなぐ」訪問リハビリテーション

当院では、回復期リハビリテーション病棟を退院された患者様を対象に、訪問リハビリテーションを実施しております。入院中には、在宅復帰に向けた応用訓練等を行いますが、ご自宅へ戻られた直後は、実際の日常生活動作に戸惑われることも少なくありません。病院環境とは異なるご自宅において、移動や日常生活の流れを確立するため、リハビリ専門職が訪問し、安全な生活を支援する実践的な訓練を行います。

また、患者様のニーズに応じて、室内での動作訓練にとどまらず、買い物・外出・社会活動など、地域における生活範囲の拡大を目的としたリハビリテーションも実施しており、原則として約3か月間継続いたします。

特に、回復期リハビリテーション病棟を退院後も継続的なリハビリテーションが望まれる患者様については、可能な限り早期（退院後2週間以内）に介護保険領域のリハビリテーションへ移行することが、より高い回復効果につながるが示されています。そのため、退院にあたりケアマネジャーと回復期リハ病棟の職員が密に連携を取り、退院後早期からリハビリテーションを実施できるよう調整を行います。

なお、入院中より介護保険の認定申請や介護支援専門員との調整を進めてまいります。詳細につきましては、医療福祉相談室までお問い合わせください。

対象の方

- 主治医から「訪問リハビリテーションが必要」と認められた方
- 訪問対象地域（神戸市西区、明石市等）にお住まいの方
- 病院から自宅に戻られて、家庭内での生活に不安がある方
- 屋外や地域での社会生活の獲得に向けて専門職の指導が必要な方
- 介護保険サービスでの訪問を希望される方
- 短期間（約3か月程度）での訪問リハサービスをご希望の方
- その他

福祉用具の
適合・安全な利用



住宅改修
の相談



外出の練習



身の回りの動作練習・自
主トレーニングの練習



趣味活動や
役割の練習



外来診療担当医表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	楠 仁美	八木 規夫	AM早川 みち子	AM八木 規夫 AM楠 仁美	早川 みち子
脳神経内科	上野 正夫	上野 正夫 井元 万紀子	木村 健一 AM小牧 遼平	井元 万紀子	木村 健一
リウマチ科	AM山本 航大	AM高橋 光彦 (リウマチ上肢疾患) AM水川 薫		永村 徳浩	北川 篤
睡眠障害・ 発達障害部門、 肢体不自由部門	菊池 清	菊池 清	AM菊池 清	菊池 清	AM豊浦 麻記子
	豊浦 麻記子	PM豊田 有子	豊浦 麻記子	豊浦 麻記子	豊田 有子
			豊田 有子		AM上月 遥
	夜泣き 外来	AM 菊池 清 AM 豊浦 麻記子			
小児整形	高橋 光彦	2・4週 金澤 慎一郎	AM元野 紘平		AM 高橋 光彦
泌尿器科	診 察	仙石 淳	手術日	PM柳内章宏	乃美 昌司
	検査・処置	乃美 昌司	午後検査	午前・午後検査	仙石 淳
整形外科	AM 大島 隆司	AM高橋 光彦 (四肢外傷後遺症・麻痺)	北川 篤 (膝一般)	戸田 光紀 (切断・脊髄障害)	担当医
				大島 隆司	担当医
	人工関節 センター	島 直子 (股関節)	北川 篤 (膝関節)		北川 篤 (膝関節)
		高島 良典	島 直子 (股関節)		
スポーツ医学診療センター	AM 佐野 翔平 AM 担当医	AM 山下 貴大 AM 横田 真二郎	AM 楠瀬 正哉	AM 荒木 大輔 AM 置村 健二郎 AM 岡田 亮	AM山下 貴大
	(夜間診) 荒木 大輔 高垣 潤 横田 真二郎	(夜間診) 置村 健二郎 大瀧 建也	AM 下菌 涼太	(夜間診) 山下 貴大 傳 直樹	
	スポーツ内科	(夜間診) 原 知之		PM本庄 友行	
リハビリテーション科					
ロボットリハビリ テーション 部門	(切断・脊髄障害) PM 陳 隆 明 (新患)				
	(切断・脊髄障害) 戸田 光紀				
リハ前診	池田 正則	井田 恭正	井田 恭正	池田 正則	井田 恭正

☆ 受付時間 初診(窓口) 8:45~11:30
再診(受付機) 8:30~11:30
☆ 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

兵庫県立リハビリテーション中央病院
地域医療連携部 地域医療連携室
〒651-2181 神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727 (代表)
TEL (078) 925-9264 (直通)
<https://www.hwc.or.jp/hospital>



外来診察表は
左のQRコード
からもご覧い
ただけます。